

令和8年5月1日時点

入学試験における出題意図について（2026年度純真学園大学大学院 保健医療学研究科 看護学専攻 看護学研究コース）

■小論文

本学大学院のアドミッション・ポリシーでは、建学の精神である「気品」「知性」「奉仕」に則り、生命の尊厳を基盤とした豊かな人間性を育み、保健・医療・福祉の分野において社会の要請に応え得る高度専門職業人の養成を目指している。とりわけ看護学専攻 看護学研究コースでは、「専門分野の基礎知識を持ち、問題解決のために自律して行動できる人」「責任感あふれる次世代のリーダーとなるべき高度専門職業人を目指す人」「グローバルな視野で物事を考え地域に貢献しようという意欲のある人」を受け入れ方針として掲げている。小論文は、これらの資質を、論理的な思考力・表現力とあわせて総合的に評価することを意図して出題した。

設問では、看護実践能力を高めるために必要な経験と学びについて、自分の考えを八〇〇字程度で論述させた。看護実践能力を、単なる技術ではなく、状況を判断し根拠に基づいて最適なケアを選択する総合的な力としてとらえたうえで、自らの臨床経験を省察し、そこから得た学びや、専門性をさらに高めるために必要な経験・学びを具体的に述べられるかを問うものである。実践を研究的に探究し、次世代の育成や地域社会への貢献につなげようとする姿勢は本コースの育成目標に沿うものであり、受験者の問題意識と自律的に学び続ける態度を評価することを意図した。

評価にあたっては、設問の趣旨を的確に読み取ったうえで、自らの主張を明確にし、論理的・客観的に一貫した論述を展開できているか、また具体的な経験や事象に基づいて自分の考えが独自性をもって示されているかを重視した。あわせて、文章の構成、日本語表現の正確さ、規定の字数についても評価の対象とした。

なお、試験時間は一二〇分とし、自らの実践の省察、構想及び記述に十分取り組める時間を確保した。